

千瓢

The Senpyo

富山県立大学同窓会機関誌
第16号

発行日：2021年(令和3年)7月1日
発行：富山県立大学同窓会 会長 野開勝政
編集：「千瓢」編集部[編集長 池上 勤, 編集員 炭谷 優子]
住所：〒939-0398 富山県射水市黒河 富山県立大学内
電話：0766-56-7500
メール：senpyokai@pu-toyama.ac.jp
URL：https://tpu-dosokai.jp/

特集

コロナ禍の 生活

2019年に発生した「新型コロナウイルス感染症」は、瞬く間に世界中に拡散し、今もなお深刻な事態に見舞われています。そして、このコロナ禍により、日本をはじめ世界中が、かつて経験したことのない未曾有の被害を受けることになりました。今号では「コロナ禍の生活」を特集テーマとし、会員のみなさんにも実情を書き綴っていただきました。



コロナ禍の県立大学とその先

富山県立大学学長 下山 勲

1年前の2020年3月ぐらいから新型コロナウイルス感染症のリスクが県内でも高まり、富山県立大学は2020年3月の卒業式は実施したものの、4月の入学式は中止せざるを得ませんでした。授業も2020年度前期から遠隔授業に移行し、その後は、遠隔授業と対面授業を使い分けた授業を行いました。

2021年の春は、ご家族に式場にお入りいただくことはできませんでしたが、卒業式、入学式ともに挙行できました。2021年度、4月からの前期の授業は、感染防止に努めながら、主に対面中心に授業を進めていますが、新型コロナウイルス感染症の拡大によっては、対面と遠隔を使い分けて授業を進めていくことになります。

2020年度の1年間に渡り、遠隔授業や遠隔会議を進めていくと、インターネットを介したコミュニ

ケーションの課題が、随分と見えてきました。多人数が授業を受講しているときには、教員は、だれがどのような反応をしているのか把握することが困難です。学生のうなずいてくれる様子がみえたり、ディスプレイを介してでも、目と目でアイコンタクトがとれると、授業もリズムにのれるけど、相手側がカメラを切っていたり、皆の顔を一度にディスプレイに映せないような多人数のときには、このコンタクトが成り立たなくて、話しにくくなります。会議や打ち合わせでは、複数の人が同時にしゃべれば声がかき消されたり、聞き取れなくなるので、だれか司会者が発言の順番を整理して順に発言するような会議や打ち合わせになります。このような会議に慣れると、これはこれで使えるのですが、会議をしている人の表情や会議の雰囲気を読みながらとか、また初対面の人との会議では、やりにくさがあります。

大学の研究成果は、上記のような直近の課題を、製品やサービスの実用化を通して、直ちに解決できるものではありません。しかし、今後、しだいに実用化されていく場面は多々考えられます。例えば、感染症のリスクを回避する場面、あるいは、遠隔地

目次

- 1 特集 コロナ禍の生活 山下 勲 学長
山名 広志/宇於崎 秀夫/表 直宏/岩井 学
- 6 特集 コロナ禍の学生生活
野田 和志/石黒 愛瑠乃/西川 日葵/大西 伶奈
- 8 研究室の近況案内 医薬品工学科/知能ロボット工学科/環境・社会基盤工学科/機械システム工学科/情報システム工学科/電気電子工学科/生物工学科
- 8 この数字をご存知ですか?
- 9 短信 ダイヤモンドを利用した工具の開発
- 11 大学ニュース
- 12 『富山県立大学ニュース』リニューアル
- 12 広告掲載企業一覧
- 13 同窓会日誌
- 14 はてなクイズ

- 15 インタビュー 技術で生活を変える 竹井 敏 教授
- 17 お客さんと伴に歩む店 ～カントリーレストラン田円～
- 18 私の好きなもの 酒井 秀仁/大居 亮/金崎 拓馬
- 20 3冊の本 川上 陽介 教授/川尻 香代子
- 22 プレゼント
- 23 懐かしい短大時代を振り返って 野開 勝政 同窓会会長
- 24 富山県立大学の歴史を読む
- 26 声
- 27 退職にあたり 石森 勇次 教授/平原 達也 教授/
高橋 剛 一郎 教授/伊藤 伸哉 教授/榊 利之 教授
- 28 2021年度同窓会総会中止のお知らせ
- 28 寄付金報告
- 28 編集後記

題字は浦野泰子さんにたのみました。浦野さんは富山県立大谷技術短期大学の応用数学科の1期生です。

にいる多忙な人からの有意義な遠隔授業を実施する場面、医療・看護の現場において、その現場に適した医師や看護師から最適な処方やケアを提供してもらう遠隔医療を導入する場面等です。

これらの場面で、使われる要素技術として、例えば、ディスプレイ上の相手の目を見て話すと、相手も目を見られていると認識できてお互いにアイコンタクトできるカメラやディスプレイがあげられます。医療現場に置き換えると、顔色が正確にディスプレイ上に再現できたり、触診などが違和感なくできたり、ひとの感覚の自然なやり取りがインターネットを介してできる技術があげられます。

このような技術を含むデジタル教育や研究を推進するため、県立大学では2022年4月に、知能ロボット工学科、情報システム工学科の定員をそれぞれ10名、25名増員して、どちらも70名とし、これに対応して最先端の通信や情報機器を整備したDX教育研究センターを供用開始します。DX教育研究センターの目指すものは、デジタル技術を活用して、社会や暮らしを変革することであり、学生は専門分野を深く習得するとともに、他分野の人たちを理解し協働できる力を身に着けます。また、企業と共同研究を進め、大学の知恵を企業を通して社会に展開する活動を行います。

前に記した、インターネットを介した違和感のないコミュニケーションも、DX教育研究センターの教育研究の重要なテーマであり、遠隔授業や会議、遠隔医療などへの応用範囲が広がると確信しています。富山県立大学では、このような課題を解決できる人材、企業や行政との共同研究を推進し、社会実装を通して、県立大学は社会に貢献していきたいと考えています。

(2021年5月5日)



私の仕事

工学部 電子情報工学科 2004年卒

山名 広志 (旧姓：成瀬)

大学を卒業後、富山県内のOA機器の会社に入社し転職することもなく淡々と過ごすうちに17年が経過しました。社内ではベテラン組になっており、上からの圧力と若い社員との接し方に日々恐怖を感じながら過ごしています。仕事はパソコンやプリンタ、コピー機といった事務機器の営業です。



対象は官公庁や県内企業、個人と幅広いですが、常に新しいお客様に出会い新しいお仕事に取り組めるため、日々変化・刺激を楽しんでいます。お客様にはデジタル機器・業務効率化が進む商品を紹介する側なのですが、私の会社は紙文化が根強く、対面での会議が好きな昔ながらのアナログな会社です。

そんな中で2020年は新型コロナウイルスが広まり拡大防止の取り組みで、世間ではテレワークやWEB会議、時差出勤といった働き方改革を採用する企業が増えてきました。いよいよ我が社も変わるかなと期待したのですが、願いは通じず変化なし。お客様用にWEB会議の機器は揃えましたが、2020年春頃の緊急事態宣言中は、出社はしたもののお客様からの問い合わせがない限りは外出しない日々でした。タブレット端末もありVPNの運用も出来る環境もありテレワークで良くないか？という社員間の声は出るものの上層部には伝わらず毎日出社しました。ですが、社内にいる時間が多かったおかげで普段では出来ない社員間のコミュニケーションが取れたと思えば良い機会だったのかもしれないです。また座席の距離をとるために席を分散したところ、私は日当たりの良い道路窓側に席を確保できたので、コーヒーを飲みながら人間観察をして過ごしました。そして定時に来て定時に帰るという当たり前といえは当たり前な事を入社してから初めて体験できた時期でした。

解除後というと、お客様先への訪問においては元通りになりました。顧客は中小企業のお客様が多い

 株式会社 中部設計

代表取締役 中 瀬 壽

本社 〒930-0029 富山市本町10番2号
TEL 076-442-4161 FAX 076-441-3704

からか、富山という土地柄なのかわかりませんが、テレワークやWEBを取り入れている企業は少なく通常面談が主でした。むしろ「何をしたらいい?」「他の企業はどうしているのか?」「それで業務は回るの?」といった相談を受けることが多かったです。すぐには仕事に直結しないケースが多いですが頼っていただけているという意味においては嬉しかったです、今後のビジネスモデルにおいてはデジタルを活用した事業運営が必要ですし、そこに向けた地ならしと思いながら取り組んでいます。大手企業への相談は小回り・融通面がきかないらしく、我々のような中小の地元企業なら相談しやすいようです。

結局のところ私たちの仕事は、昔ながらに泥臭くお客様と信頼関係を構築していくことで需要を生み出すしかないのかな、と感じました。全てが機械で処理されるのであれば別ですが、人が何かを行う以上はそれをサポートする人や企業が必要です。それを再認識した1年だったと思います。お客様のお役に立てる需要がある限り、その御縁を楽しみたいと思います。

《近況》

小学1年生の子供がいるのですが、体力もついてきており元気ハツラツ、遊びについていくのが辛くなってきました。また学生時代は無縁だった花粉症が数年前から発症し年々重症化と歳を感じる今日この頃です。この1年、お昼は外食からお弁当中心に、お客様との懇親会もなく夜も自宅中心となったので健康診断は過去最高の評点でした。

(2021年3月25日)

思いがけない息子の帰省

富山県立大学同窓会 副会長

工学部 電子情報工学科 1994年卒

宇於崎 秀夫

パナソニック株式会社 インダストリー社
デバイスソリューション事業部



大学を卒業し、砺波の会社に勤めて26年になります。本社のある大阪や、工場間取引のある島根や京都、海外拠点工場のある中国やスロバキアと、各拠点とのやりとりが多くなる中、コロナ禍となる前よりネット回線でのTV会議は多用されてはいました。しかし、このコロナ禍の影響で週に1回程度だったこのTV会議が、ネット回線でのTV会議からTeamsアプリを利用した会議にとって代わり、これまでの拠点間での会議だけでなく、顧客や購入先、テレワークしている同僚ともほぼ毎日なんらかの形で繋がるようになり、一気にネットでの会議が加速しました。これまでの面直で築いた信頼関係があるからなんとか運

用出来ていますが、まったく0からの相手とも今後はこのようなネット会議が増えていくと思うと、いささか不安を感じるのは歳のせいなのでしょう。か?ももっとも慣れて、使いこなさなければならぬと焦るばかりです。

このコロナ禍で家庭での変化といえば、大学入学とともに家を出て、そのまま県外の会社勤めとなった長男が、プログラミング業務なら実家でもテレワークが可能とのことで、実家に帰省してきたことです。現在は残念ながら戻ってしまいましたが、約6年ぶりの実家暮らしをしてくれ、宇於崎家は久しぶりに家族全員が揃う生活となり、コロナ禍にもかかわらずワイワイと過ごしました。ワイワイといっても、コロナ禍のため遠出の家族旅行することも叶わず、週末に、庭で焚火を囲みながら、燻製や焼き芋を食べたことが良い思い出となりました。

日々の暮らしの中では、なかなか朝起きない息子をしつこく起こしたり、自宅のリビングを使いテレワークで残業している息子に気をつかい、他の家族はひっそりと過ごさなければならなかったりと、なかなかのストレスを与えてくれる息子であったなあと思ひ返されます。それでも、全国での感染者が1日4000人を超える日々が続いた時は、親心としては、遠く離れた息子の健康に気を揉むことなくおだやかに日々を過ごせたことに安堵を感じました。まだまだ予断を許さないですし、全国どこにいても感染の危険性は結局同じだとは思ってはいるのですが、子供が自分の目の届くところにいて生活しているという安心感を感じた時は、子供はいくつになっても自分は親で、子供たちの心配をするのが親の務めなのだと改めて気づかされました。長男が帰省していた3ヶ月半は、思いがけず、じっくりと家族で話ができる良い時間となりました。まだまだ、現時点ではコロナ禍が収まる気配はなく、気を許せない状況は続きますが、家族全員が健康で過ごせるよう最大限の注意を払って過ごしていきたいと思います。

(2021年4月5日)



Life with Green Technology

環境技術でひらく、豊かな暮らし

三協アルミ

富山支店ビル建材部

〒930-0982 富山市荒川3-2-6 TEL (076) 492-0083

生命保険の本質とは・・・

技術短期大学 応用数学科 1989 年卒

表 直宏

ジブラルタ生命保険株式会社
富山支社・富山第六営業所
キャリアアテンダント



昨年は新型コロナウイルスの拡大そして緊急事態宣言が発令されました。我々の生命保険業界も当然営業活動の自粛を余儀なくされ、特に昨年5～6月自宅待機期間中は、お客様からの保全も郵送対応厳守。社内ミーティングはWEB、社外研修もオンライン研修と、今まで人と会うことが大切である営業職の生活が根本から否定されたような雰囲気になり収入面の不安も重なり、当時は精神的にかなり悩んでいたと思います。

自宅に居る時間が多くなると、どうしてもスマホやテレビを見る時間が必然的に多くなるものですが、最近特にネットで簡単に割安で生命保険に入れるというCMがよく流れていると感じます。ただ生命保険に興味を持っていただくことは大変いいことだと思います。他社に感謝ですね（笑）。

そんなコロナ禍の去年11月私の担当地域から死亡保険給付手続きの依頼が入りました。契約者・被保険者は砺波市在住85歳男性他界、受取人は50代男性。対面手続きの際、色々とお話を聞かせて頂いたところ、現在コロナ禍で仕事は無く、生活も苦しい時に父親の死亡保険金約870万円は本当に助かったと心から父親に感謝しておられた。25年以上も前の契約であり私が結んだ契約では無いので契約者さまの保険に対する想いも分からないのですが、何度も何度も私にお礼を言われていたのが印象に残っ

ております。

ところで、『一般財団法人あしなが育英会（本社・東京千代田区）』をご存知でしょうか？病気や災害自殺などで親を亡くした子供達や障害などで親が働けない家庭の子供達を奨励金、教育支援で支える民間非営利団体です。2019年は過去最高の6,551件総額48億円の交付があり、子供の人口が減少しているのにも関わらず、年々増加しております。一方で、日本の生命保険加入率は年々微増し81%を超えています。この数字、現状は何を意味するのか、我々保険会社の社会的責任は重大であると感じさせられます。

昨年話題になった、『鬼滅の刃』の主人公竈門炭治郎が言っていました。『人生には空模様がある。移ろって動いていく。ずっと晴れが続くことはないし、ずっと雪が降り続くこともない。』世の中は常に変化して、良くも悪くもいつまでも同じ状態でいたいと思っても、そうはいかないものだ、私たち生身の身体も同じではないでしょうか。

近年、年金保険・学資保険・入院保険・就労不能保険など、ベクトルが自分自身に向いている自分のための保険商品が多く、売り手側も売り易いのも事実。また生活スタイルの多様化と共に『死亡保障はそんなに必要ない』と提案しない保険会社が少なくありません。CM等で気軽なイメージでPRしていることもあり、『保険加入が目的』になっているように感じられます。しかし、金融機関の中で保険会社でしか出来ないこと、それはお金を増やすことではなく、しっかりと『死亡保障』を提供し、経済的保障と心の平和と恩を繋ぐことだと思います。我々保険会社が『死亡保障』を売らなくなったなら誰が売のでしょうか？私は、『加入が目的』ではなく『想いのある保険金（恩）をお届けすること』が生命保険の真の目的であると思います。

まだまだコロナ禍の出口は見えませんが、直接面談と並行してオンラインによるリモートセールスも導入し、『生命保険の本質』と『生命保険の魔法の力』を一人でも多くの方々に伝えることで、自分自身の成長と社会のセーフティーネットを守りたいと思います。

（2021年3月31日）





測量・設計・補償・調査

株式会社 寺島コンサルタント

富山市田中町 1-14-10 代表取締役 寺島 雅峰

Tel. 076-444-1355

<http://terasima.jp/>

From
2D
To
3D



無人飛行体 (UAV)

・3次元空間を計測
・3次元データの
利活用

Total
3D Survey
System



車載型レーザーキャナ



地上型レーザーキャナ

理化学器械・産業器械 計測・試験機器

山 本 理 化
山 本 文 雄

〒939-8046 富山市本郷新 63-5
TEL : (076)461-4773 FAX : (076)461-6957
E-mail : yamamoto-rk@fancy.ocn.ne.jp

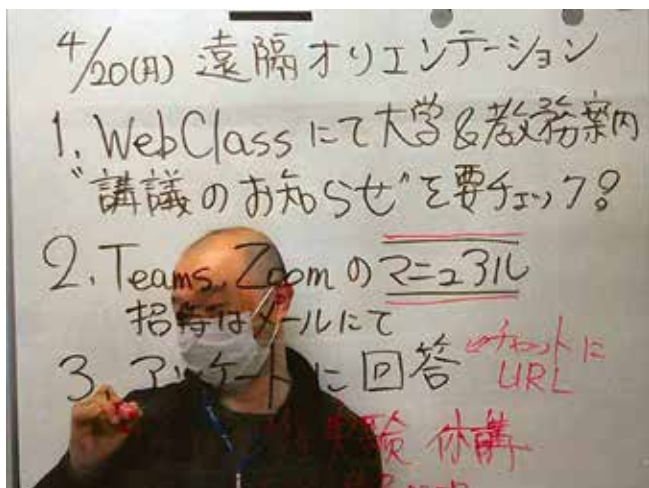
コロナ禍で変革した大学教育と研究活動・・・

富山県立大学 工学部 知能ロボット工学科
教授 岩井 学

令和2年1月、新型ウィルスが流行しているとのこと、当初は他人事でした。その後、急速に感染が拡大し、3月の学会や講演会が次々と中止になり、卒業式は卒業生のみにも縮小されて行われました。新学期の対応に迫られた令和2年3月からの1年間を振り返ってみました。

どうなる！？新学期

3月末は感染予防に努め、対面での講義を検討してました。しかし4月になると事態は深刻になり、入学式が中止に、講義は遠隔で行われることになりました。問題は新入生です。大学に一度も来られないので講義の履修登録方法が分かりません。急遽、新入生向けに説明動画を作成しYouTubeにアップしました。4年次生の研究室配属はオンラインで決定し、最初の顔合わせがオンラインでした。



< オンラインで履修登録の方法を説明する筆者 >

初めての遠隔講義の準備

準備に2週間ほど設けられました。遠隔ツールを緊急整備し、学生に接続テストをさせました。通信環境が整っていない学生にはWifiルーターが貸し出されました。遠隔講義は、講義の時間になったらカメラの前で講義を行うリアルタイム方式と、講義内容を予め録画しておき、講義中に学生に視聴させて指導を行うオンデマンド方式があります。私はリアルタイム方式で行いました。いずれも先生方は遠隔講義に合わせた資料作りに追われました。

機械製作実習も遠隔講義で実施

旋盤、溶接、アルミ鋳造などを実習する機械製作実習も遠隔講義で実施しました。実習の様子を理解してもらおうとパステル工房の先生方とビデオ教材を作成しました。コロナ終息後でも補足説明に活用でき、学生が自身で工作機械の使い方を学習できるようになります。実際に工作機械に触れたいと思う

学生は多く、夏休み中に開催されたものづくり体験イベント「チャレンジ the ものづくり」には沢山の参加がありました。前期はすべての講義や実験・実習を遠隔講義で実施せざるを得ませんでした。後期になると一部の講義と実験・実習が対面で再開されました。

学生の遠隔講義の評判は？

学生には概ね好評だったようです。パソコンに映し出される解説は板書より見やすく、録画映像をいつでも何度でも見返すことができる点が良いようです。目が疲れるという窮状も多く寄せられました。遠隔ツールには講義資料を共有化し、アンケートを行い瞬時に把握できる利点もあります。私としては図や動画を多く使うことができ、説明が充実できたと思います。一方、レポートやテストの処理が煩雑になりました。講義方法が変わっても授業方法、学生へのフィードバック、そして興味を惹く雑談が大切だと再認識しました。



< 遠隔講義の様子や使用機材 >

研究活動

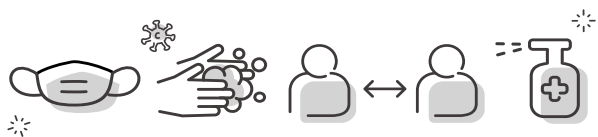
4～5月は中断を余儀なくされましたが、その後は通常通り再開されました。学会発表はすべてオンラインで実施され、2月の修士論文審査会および卒業研究発表会もオンラインで行われました。卒業式も無事に行われましたが、研究室追い出しコンパは中止せざるを得ませんでした。研究室の学生との親睦会(飲みみにケーション)は無いままでした。企業との共同研究の打ち合わせも多くがオンラインで行われるようになりました。出張せずに済むし、国内外の関係者が一堂に会することができます。コロナ禍による変革だと思います。

近況

コロナ禍は教育や研究活動に大変革を起こしました。当初、遠隔講義なんてもってのほかだ！と思ってましたが、学生への教育効果は高いです。遠隔ツールやオンデマンド教材の活用は今後も進めていきたいです。研究ではオンラインで世界中を繋いで打合せできるようになりましたが、顔を合わせて本音で語り合うことが大切です。国際会議参加のための海外旅行が待ち遠しいです。(2021年3月31日)

特集

コロナ禍の 学生生活



家族や友人の大切さに気づく

環境・社会基盤工学科 4年 野田 和志

私たちの生活に、コロナウイルスが突如として現われ、今や世界中に感染が広まり、その影響によって学生生活が大きく変化しました。私自身、授業形式が対面からオンラインに変更になったことで、友人に会う機会がほとんど無くなり、さらにアルバイトも制限され、自宅で過ごす時間が大幅に増えました。オンライン授業では、WEB会議システム



により、教員と学生が遠隔でコミュニケーションを図りながら授業を進めました。この授業形態を通して、人と人との接触が無くなるというメリットは感じましたが、やはり学生側の様子が伝わりにくい分、取り組みの姿勢や理解度にばらつきが生じるデメリットも感じました。アルバイトでは居酒屋で接客業をしていますが、お客様がほとんど来ない日が続き、全く働くことの出来ない時期もありました。

このように、自由に出掛けることができず1人で過ごす時間は、寂しさと不安が募り、そのストレスは想像以上のものでした。さらに、コロナウイルスは就職活動にも大きな影響を及ぼしました。説明会や面接がWEB形式になることが多くなり、対面形式と比べて視覚的な雰囲気を読み取りや会話の受け答えが難しいという場面が生まれてしまうこともありました。しかし、会場への移動が省かれるので、そのような説明会や面接へ手軽に参加することができるといい面も感じました。

私はこのような環境下での生活を通して、真剣な話からたわいもない話まで、たくさんの会話をする事が出来る家族や友人の大切さに改めて気付くことが出来ました。そして自分の生活は常に周りの人たちに支えられているのだと実感しています。コロナウイルスの収束がいつになるかは分かりませんが、一日でも早く多くの人の日常が戻り、明るい未来が訪れてほしいと思います。

(2021年4月1日)



オンライン講義

知能ロボット工学科 4年 石黒 愛瑠乃

コロナの拡大により、私生活や学校生活において、今までとは違った状況、現状が今でも続いている。マスクが必要不可欠な生活、オンラインでの講義や面接などが当たり前になってきている。

コロナ過の生活で大変だったことは、オンラインでの講義受講である。これまでは大学に行き、友達や同級生と同じ教室で受けていたが、オンライン講義になり、自宅で受けるようになった。オンラインでの講義は初めてだったため、慣れない環境に不安を感じた。特に、今までは、分からないところがあるとすぐに周りの友達に聞くことができていたが、

オンラインになり、周りに人がいないため、簡単に友達に聞くことができなくなった。また、パソコン画面をずっと見ているため目が疲れる、自宅であることから集中できない日も多くあった。

その一方で、起きてすぐ受けることができる、画面が見やすいなどの利点もあった。オンライン講義を通して、オンラインの良い点や悪い点を実感することができた。現在は、オンラインで受けることへの抵抗はなく、どこでも受けることができるため、オンラインを活用することも重要だと考える。また、私生活においても、マスクでの生活や距離をたもった生活に慣れた。しかし、コロナが流行する前の生活のほうが良かったと思うので、早く収束してほしいと思う。

(2021年3月22日)

「感謝」の気持ちと「技術」で応える
感動につながる 仕事 づくり



砥波工業株式会社

代表取締役社長 上田 信和

砺波市中央町1番8号 TEL(0763)32-3105

<http://www.tonamikogyo.co.jp>



しょく

**みんなの
よい食
プロジェクト**

富山県JAグループ

コロナ禍で出来ること

生物工学科 2年 西川 日葵

新型コロナウイルスの影響で、私が思っていた大学生活とはかけ離れた形で大学生活がスタートしました。入学式や、直接会ってのオリエンテーションがなかったため友達ができず、履修登録やレポートの書き方、パソコンの設定など様々なことが分からず、探り探りの状態でした。わからないことがあったときに気軽に友達に相談できないのはかなり辛かったです。後期からは対面授業が増え、学校に行くことが多くなってきたのでだんだん友達ができ、大学生らしい生活を送ることができるようになりました。前期は授業の少し前に起き、寝ぼけたまま授業を受けることが何度かありましたが、後期は朝早く起き、身支度を済ませ、車で通学することによりメリハリのある生活を送れました。些細なことではあるけど友達と課題をしたり、話をしたりするのはすることが嬉しかったです。

学校以外のことで、家で過ごす時間が増え、暇な時間がたくさんあったので、自分磨きをすることにしました。保育園のころから続けているバレエも休みとなったので家で

筋トレをし、受験でたるんだ身体を引き締めることから始めました。毎日しっかりと筋トレやバレエの練習をすると、しっかりと結果がついてきたのでとても嬉しかったです。その甲斐あって11月に開催された発表会では主役を務めることができました。例年とは違い、男性ゲストがいなく練習期間が少ないなか、どうしても自分の踊りが魅力的に見えるか、役に合うようになるかを考えるなど、いつもより集中して行うことで質の高い練習を心がけました。本番では少し悔いは残るものの、とても大きな達成感を味わうことができました。

今年に入ってから、去年はコロナの影響であまり新しいことができなかったのも、何か新しい挑戦がしたいと思い、砺波市の観光大使である、プリンセスチューリップに応募しました。面接などのオー



ディションをしたのは初めてだったので合格したときはとてもうれしかったです。これから活動を通して様々な人と関わり、知見を広めるとともに様々なことにチャレンジしていきたいと思います。

改めて考えてみると、コロナに振り回された1年間でした。しかし、少し考え方を換え、自分の時間がたくさんあると考えたとき、生活を見直しスキルアップや自分を磨くことに時間を割くことができたのは大きかったと思います。その結果コロナ禍ではあったものの、充実した1年を過ごすことができたので満足です。

(2021年4月1日)

✧ ✧ ✧ ✧ ✧ ✧ ✧ ✧ ✧ ✧ ✧ ✧ ✧ ✧ ✧ ✧

オンライン授業

知能ロボット工学科 4年 大西 伶奈

コロナ禍により、今までの生活は一変しました。新学期早々すべての授業はオンライン授業になりました。オンライン授業に切り替わったことで、授業内容に関する疑問点や分からない点があっても、気軽に友達に聞けない、休み時間になっても、パソコンの前で次の授業が始まるまでボーっとするだけの日々は思った以上につらかったです。

その中でも、知人との情報共有が気軽にできず、毎日情報を見落としていないか、気を張り詰めながら過ごす日々はストレスがたまりました。オンライン授業になったことで、気軽に授業の見直しができる点、理解が追い付かないときには一時停止でき、登校時間やそれに伴う準備時間などを短縮できた点などはとても便利だと思いました。

(2021年3月16日)



MDRT 日本会
ジブラルタ生命分会
2020 年度成績資格会員

生命保険協会認定トータル・ライフ・コンサルタント (認定番号 1500625785T)

表 直宏

富山県立技術短期大学
1989年卒 応用数学科26期生

電話 080-8998-2231

Email Naohiro.Omote@gib-life.co.jp

〒930-0083 富山県富山市総曲輪1-7-15 5階

会員の皆様に、生命保険をわかり易く説明させていただきます。



Gibraltar
ジブラルタ生命

地域の未来をつむいでいきます

測量/設計/補償/地籍調査/3Dレーザー計測/システム開発



株式会社 上智

本社 〒939-1351 富山県砺波市千代176番地の1

TEL 0763-33-2085 HP www.johchi.co.jp

■ 研究室の近況案内

医薬品工学科

製薬化学工学講座

大坂 一生 准教授

2018年4月より医薬品工学科の製薬化学工学講座で准教授をつとめております、大坂一生と申します。着任当時は先生方や学科、事務局、大学、県のご支援により仮設校舎で研究環境を整えることができ、2020年3月には9階建ての新棟(中央棟)の8階に移動いたしました。新棟には大学設備として新規の質量分析装置を導入して頂きました。その後、その機器を利用して本格的に研究をスタートするはずでしたが、感染症が世界的に大流行によって全国的に移動が制限され、最新機器の詳細なトレーニングを受けることが困難な状況になってしまいました。導入された機器を横目で見ながら、以前からある機器を用いて実験をしていたときの不思議な気分を今でも覚えています。研究室の学生は、限られた時間を有効に活用して研究成果をまとめ、2021年3月には医薬品工学科の第一期生の研究室メンバー3名が卒業しました。2021年4月からは修士課程の大学院生1名と学部4年生3名で研究をしております。

本研究室では、質量分析学をベースとして研究をしています。研究内容としては、様々な物質を超高感度に検出するためのイオン化法の開発、メタボロミクスやプロテオミクスのための前処理・分離技術・検出・解析法の開発、医薬品成分の高精度検出と不純物分析、医用材料や工業材料の劣化について、複雑なデータの機械処理の研究を行っています。県内外の企業や、医療関係者、統計学専門の方々とも協力し、薬学や医学、化学、環境、生物分野の研究を進めているところです。

我々が研究している質量分析学は、化学や物理化学、電磁気学等の基礎科学を融合した総合科学です。本研究室では、この手法を開発または応用して、医薬学分野の研究をしております。質量分析学に関する教育研究を通して、工学と極微量分析の知識と経験を持つ技術者や研究者の育成と、企業等への技術還元によって社会に貢献したいと考えています。



2 この数字を 1
3 で存じてすか

30



富山県立大学は1990年(平成2年)開学して、2020年(令和2年)に開学30周年になる。それを記念して『富山県立大学三十年史(2010.4から2020.3を中心に)』(A4判215P)が2020年10月に発行された。10年前に発行された『富山県立大学二十年史』以降の10年を中心に編集された記念誌です。



測量・設計・補償・調査・計画・施工管理

株式会社 **雄川コンサルタンツ**代表取締役 **雄川 薫 雅**

本社：〒939-1357 富山県砺波市小杉213番地

TEL：0763-33-5628 FAX：0763-33-2895

支店：小矢部・入善・南砺・高岡・立山・射水・氷見

URL：<http://www.1956ogawa.co.jp>

研究室の近況案内

環境・社会基盤工学科

社会基盤工学講座

内田 慎哉 准教授

「明るく！元気で！逞しい！」研究室を目指して！

2018年4月に着任し、同年10月に研究室がスタートしました。これまでに、卒業生4名を社会に送り出し、現在は研究員1名、M2:1名、B4:4名の発展途上の小さな所帯の研究室です。本学での教員としての歴史が浅いにもかかわらず、同窓会誌「千瓢」での原稿依頼を頂き、本当にうれしく思うとともに、さて、誰に向けて？何を書こうか？と悩んでしまいました。

まずは、本学の卒業生の先輩方に向けて、自己紹介です。「明るく！元気で！逞しく！」をスローガンに、チームワークを大切に、気兼ねすることなく何でも話しができる研究室を目指し、設立4年弱の若輩者ですが、日々、楽しく過ごしております。我々の研究室では、「地球のお医者さん」を目指して、道路、鉄道、上下水道、ダムなどの社会基盤施設を適切に診察・治療するための非破壊検査技術を開発しております。いわゆる従来の土木分野の研究室とは異なり、検査するためのロボット開発も行っています。お困りのことがあれば、なんでもご相談ください。



富山市が管理する橋脚をよじ登りながら点検をするロボット
((有) ボーダック/日東建設(株)との共同研究)

続いて、本研究室の卒業生に向けて。楽しく仕事をしていますか？プライベートは充実していますか？内田研はより一層明るくなり、いろいろな行事を学生が企てています。コロナの関係で開催できるかわかりませんが、①BBQ、②現場見学、③研究室旅行など、盛りだくさんの行事を考えています。また、定例の研究室同窓会も、12月最終土曜日に開催します！ぜひ、遊びに来てください。その頃には、3年生の新しいメンバーも加わり、きっと新しい雰囲気、とっても素敵な、新しいヒューマンネットワークが形成できる場になっています！乞うご期待！！

最後に、研究室としての今後の抱負です。ようやくですが、HP(<http://uchida-lab.com>)も充実しつつある状況です。人が使いたくなる技術を開発し、社会に貢献し続けます！富山に根を張り、研究成果を日本全国・世界にアピールします！どうぞ末永く、よろしくお願い申し上げます。



研究室のメンバー



Dream on the earth
(大地に夢を描く仕事)

北建コンサル株式会社

代表取締役社長 鷺北 慎一

本社 〒933-0941

高岡市内免3丁目3-6 鷺北ビル2F

TEL: (0766) 23-3666(代) FAX: (0766) 23-3987

<https://www.kitaken.co.jp>

水と寄り添うテクノロジー。人と街に、安心と潤いを...

水機工業株式会社
SUIKI

代表取締役 大井 茂

本社/富山市黒崎172 TEL:076-491-2533(代)

<http://www.suikikogyo.co.jp/>

Duplo
from print to documents

オフィス機器の総合商社 **デュプロ北陸販売株式会社**

代表取締役 **大秦 徹**

本社/金沢市福増町北1300番地 TEL 076-204-6633

富山営業所/富山市掛尾町504番地3 TEL 076-492-9191

福井営業所/福井市西開発1丁目2318 TEL 0766-52-6200

研究室の近況案内

機械システム工学科

熱流体工学講座

畠山 友行 准教授

2009年4月に機械システム工学科の助教として着任し、10年以上が経ちました。着任当初は、前学長の石塚勝先生にお世話になり、研究・教育・大学運営などのいろはを教えてくださいました。石塚先生が学長になられた後、石塚先生の研究室を引き継ぐ形で、私の研究室がスタートしました。石塚先生から「最後は自分が責任を持つから、自由に活動していいですよ。」と言っていたので、当時石塚先生が担当されていた研究や学会活動を私に任せてくれたおかげで、多くの人脈を作ることができ、研究室を引き継いだ後も、研究活動・学会活動をスムーズにスタートさせることができました。

研究室のモットーは、明るく楽しく元気に研究活動を行うことです。笑顔の絶えない研究室で、良い成果を出すことを目指しております。

私の研究室では、電子機器の冷却を中心に、熱の移動に関連する研究を行っております。パソコンやスマートフォンなどの電子機器は、使っていると熱くなります。電気を使うことで、熱が発生するからです。電子機器から発生する熱を放っておくと、電子機器はどんどん熱くなり、やがて動作不良が起こり、最終的には故障してしまいます。そのため、冷却する必要があります。最近は、自動車も電子機器の塊となっております。自動車に搭載されているエ

ンジンを制御するための電子機器などが故障した場合は、事故につながる危険性があります。電子機器の冷却は、どんどんますます重要になっております。私の研究室では、電子機器を効率的に冷却するための方法の開発、電子機器の温度を簡単かつ高精度に予測する方法の開発などを中心に研究活動を進めております。また、燃焼炉における熱利用の高効率化など、電子機器以外の熱流動に関する研究も行っております。

コロナ渦で大変な状況ではありますが、研究室のメンバーが毎日笑って過ごせるような雰囲気、研究活動を進めたいと思います。



研究室のメンバーの一部（中央で立っているのが筆者、感染対策のため全員マスクをしての写真撮影）

大学ニュース

役職教員

● 学 長	下山 勲	教授
● 副学長・工学部長	中島 範行	教授
● 看護学部長	竹内 登美子	教授
● 教養教育センター長	福原 忠	教授
● 工学部主任		
機械システム工学科	中川 慎二	教授
知能ロボット工学科	神谷 和秀	教授
電気電子工学科	大寺 康夫	教授
情報システム工学科	太田 聡	教授
環境・社会基盤工学科	伊藤 始	教授
生物工学科	五十嵐 康弘	教授
医薬品工学科	米田 英伸	教授
● 看護学科長	佐伯 和子	教授



昇 任

● 工 学 部		
教養教育センター	平野 嘉孝	教授
教養教育センター	川端 繁樹	教授
環境・社会基盤工学科	古谷 元	教授
環境・社会基盤工学科	星川 圭介	教授
医薬品工学科	小山 靖人	教授
電気電子工学科	高屋 智久	准教授

退 職

令和3年3月31日をもって退職されました。
長い間お疲れ様でした。

● 工 学 部		
教養教育センター	石森 勇次	教授
知能ロボット工学科	平原 達也	教授
環境・社会基盤工学科	高橋剛一郎	教授
生物工学科	伊藤 伸哉	教授
医薬品工学科	榎 利之	教授

研究室の近況案内

電気電子工学科

集積機能デバイス工学講座

吉河 武文 教授

私は民間企業に27年ほど勤務した後、本学に2018年4月に着任しました。そして、2019年4月に着任した岩田達哉講師とともに、「IoT時代を支えるセンサ・回路・システム技術」について、研究活動を実施しています。2021年4月時点で、修士1年が4名、学部4年が6名と比較的小さな研究室です。

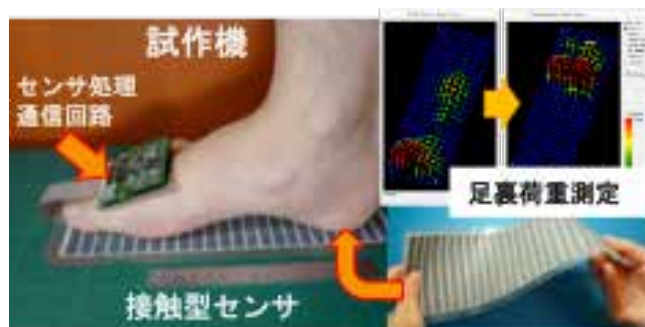
本研究室のメインテーマは、センサ技術の研究開発です。様々なモノが繋がるIoT時代では、無数のセンサが社会にちりばめられて、そこから生み出される膨大なデータをAIで解析して人間社会で役立てるようになります。このような時代のキーパーツであるセンサについて、物理・化学センシングのための小型高性能なセンサデバイス、そのセンサ信号を増幅しデジタル化するアナログフロントエンドとADコンバータ、そのデジタル信号を処理解析するセンサシステムを、MEMS、半導体CMOSプロセス及び機械学習を活用して研究開発しています。このように、IoT時代に必須の小型センシングシステムを、センサデバイスから回路と信号解析まで一気通貫で少人数ながら取り組んでいます。

現在は、においセンサデバイスの基礎的評価と、足裏荷重センサのアナログフロントエンドを設計開発しています。近い将来には、小型軽量のにおいセンサシステムを構築する予定です。また、知的情報処理回路の実現に向けたメモリストの研究や、宇宙線や妨害波への耐性を強化する回路の研究も行っています。

本研究室のポイントは、シミュレーションだけで終わらず、実際に装置やシステムを試作して実験評価する点にあります。地方大学でここまでやる研究室は珍しく本研究室の特徴になっています。実際のモノづくりを通して、電子工学分野のやりがいや面白さを発見し体験できるよう、引き続き鋭意努力していく所存です。



足裏荷重センサシステム



においセンサの基礎的評価実験

同窓会日誌

同窓会炭谷優子事務局長の日誌です。

2020年8月7日

新事務局に看板を取り付けました。東駐車場にある建屋には入り口が2つありますが、これで間違えずに入ってきていただけるようになりました。

2020年10月3日

富山県立大学開学30周年記念式典はコロナウイルス感染防止のため、来賓と1年生のみの参加で行われました。式典の様子はYouTubeでライブ配信されておりました。

式典後の記念講演は、講師 川人光男氏（富山県立大学特任教授 ATR脳情報通信総合研究所所長）題目は「脳科学とAIで心の不安に打ち克つ」でした。脳科学とAI、神経医学の融合による新しい治療の創出がコロナ禍に潜む多くの人の心の不安を取り除くことが可能になると研究を進めておられます。

川人教授の研究により、国全体のヘルスケアをデジタル化した社会で行えるようになることを期待しています。



富山県立大学開学30周年記念式典

<同窓会日誌 P21につづく>

■ 研究室の近況案内

生物工学科

酵素化学工学講座

浅野 泰久 教授

タンパク質の一種である酵素は、顕著な触媒作用を示し、生物はそれらを用いて、食物・環境からエネルギーを引き出すと同時に、体の構成成分を合成し、子孫を作ります。酵素は、食品加工・製造、環境調和型の物質生産、さらに臨床・医薬品合成などに至るまで利用され、また近年進展が著しい生物学・医学などの基礎研究にも無くてはならないものになっています。我々は、微生物のみならず動植物から、新しい酵素を開発し、それらの特性の解明、構造解析、酵素改変、酵素・化学合成のハイブリッド法による医薬品原料などの有用物質合成への利用についての研究を進めています。

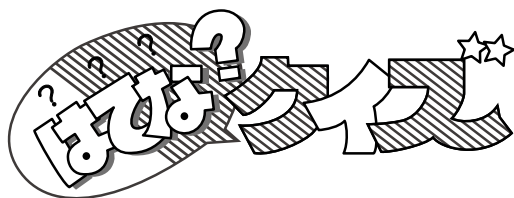
現在、科学研究費基盤研究 (S) や、くすりのシリコンバレー TOYAMA プロジェクトを推進しています。ドイツのビーレフェルト大学、タイのプリンスオブソンクラ大学、および中国の遵義医科大学との間で学術交流協定を締結して国際的な学術・研究交流を実施し、現在6名の外国人研究者・学生が研究室に参加して、共に研究しています。

研究課題は、酵素の産業利用の途上に発生する難題の解決です。① 誰も見つけていない酵素・反応を、種々の手法で見出します。微生物、動植物の探

索から始めて、近年蓄積した膨大な DNA 情報を駆使して、スマート探索を可能にします。学生であっても発見の醍醐味を味わうチャンスがあります。② 静岡県立大学や本学情報システム工学科などとの共同研究を通じて、酵素の構造情報を基に、高活性酵素へと変異させるためのホットスポットなどを予測し、酵素の大量生産を可能にします。未解明である酵素の一次構造の意味の解読やタンパク質構造の神秘について追求します。③ 酵素を有機合成反応に組み込み、さらにフロー合成による効率化を図り、世界の製薬・化学産業が目指すクリーンな未来型の医薬品製造を可能にします。



酵素化学工学研究室の集合写真



2020 年 10 月に発行された大学の記念誌は、『富山県立大学〇〇年史』です。(〇〇にはいる数字をお答え下さい、数字は和数字でも洋数字でも可)

ヒント：8 ページの「この数字をご存じですか」を見て下さい

答えは 〇〇年史

☆同封のはがき、またはメールで答えと住所・氏名を書いてご応募下さい。正解者 10 名に図書カード (500円) 進呈。正解者多数の場合は抽選とします。締切 9 月末 (当日消印有効)。答えと一緒に「千瓢」の感想も書いて下さい。

応募先

〒 939-0398 富山県射水市黒河 5180

富山県立大学同窓会事務局

E-mail senpyokai@pu-toyama.ac.jp

ホームページ <https://tpu-dosokai.jp/>

※ホームページからもご応募できます。

締切 9 月末 (当日消印有効)

「千瓢」14号クイズの答え

富山県立大学は工学部と看護学部の〇学部制です。

答えは 2 学部

正解者の中から抽選で 10 名の方に、図書カードをお送りしました。

おめでとうございます。



技術で生活を変える

医薬品工学科

竹井 敏 (たけい さとし) 教授



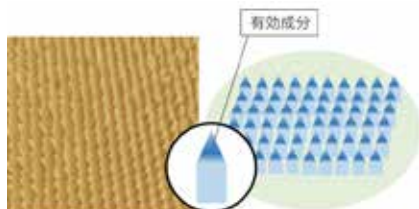
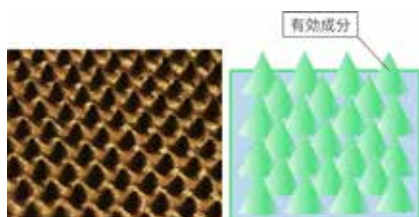
竹井教授はナノ加工技術でライフサイエンス・ヘルスケア機能材料の研究に取り組んでいる。

民間企業で12年間、新製品の商業化のため国内外のメーカと協業体制を構築して研究開発を実施してきた、その後富山県立大学で研究を続けている。民間時代の国際研究機関での研究やアメリカの大学での留学経験が生きている。

今とり組んでいるのは、産業界から要望がある4つの研究です。

1、皮吸収型化粧品・医薬品用高浸透ナノマイクロニードル

ナノマイクロニードルはナノレベル（1ナノメートルは10億分の1メートル）の針でニードル自身が皮膚本来の成分であるコラーゲンやヒアルロン酸などからなり、貼ると針が皮膚内で溶けて有効成分が直接肌に注入できる。これは化粧品として利用できる。もう一つの利用方法はニードルの表面にコートされた有効成分を、皮膚の角質層から真皮を通り毛細血管へ送り込むシステムにより皮



富山県立大学 工学部 医薬品工学科 教授
竹井 敏 (たけい・さとし)

京都府出身。

京都工芸繊維大学繊維学部高分子学科卒。

京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科高分子学専攻博士前期課程修了。

1998年、日産化学工業に入社し、光・電子機能性材料や微細加工技術の研究を担当。その間、ベルギーの国際研究機関の Interuniversity Microelectronics Centre (IMEC) や米国のテキサス大学などに留学。また大阪大学大学院基礎工学研究科物質創成専攻博士後期課程を修了し、工学博士号を取得。

2010年3月、日産化学工業を退職。

2010年4月より富山県立大学准教授。

2017年4月より現職。

大阪大学大学院 招聘教員を兼務。

膚に貼って、使用する。薬を飲むときの水がいらなく、痛みも軽減できる。

2、防汚性医療機材

ナノ加工を行うことで、人工血管や人工尿管の管内の汚れを防ぐ、この防汚性の研究は医薬品の分野だけでなく化粧品、食品、プラスチック等多岐にわたり、国内外の企業と連携して研究を進めている。



3、抗菌・殺菌性機能プラスチック・フィルム

ナノ密集突起と電位差等で細菌の細胞壁を破り抗菌商品として利用できる。安全性が高く低コストでキトサン等のバイオマス由来の材料は、大腸菌を死滅させて、医療材料・機器だけでなくエレクトロニクスや家庭用品への用途と多方面な面で期待できる

4、早期診断用培養時間短縮や細菌・ウイルス検出時間短縮用蛍光強度増強ナノホールフィルム

ナノインプリンタにより、ガス透過性金型を用いて、機能材料の表面にナノ加工を施すことに成功し

緑を育み、未来へつなぐ



株式会社サカエグリーン

代表取締役 山本 栄

〒930-0171 富山県富山市野々上150番地
TEL (076) 434-0036
FAX (076) 434-4968
HP <http://www.sakaegreen.com/>

サカエグリーンはカターレ富山を応援しています

ゆたかな経験 確かな技術



総合建設業

中越興業株式会社

代表取締役 山下 博

本社 富山県南砺市野口800番地 TEL (0763) 62-1221
FAX (0763) 62-1222
富山支店・岐阜営業所 <http://www.tyuetsu-kogyo.co.jp>

た。細胞、タンパク質、抗体、抗原、及び DNA 等のナノ・マイクロアレイに応用できる。ナノ加工した機能フィルムは、医療用として早期診断用 3 次元培養地として使用でき、従来の 2 次元培養地に比べて検査時間の短縮化が出来る。

この研究に使用しているガス透過型金型は竹井研究室のオリジナルで、ガス透過性を有する金型（モールド・テンプレート）によって成形不良の改善や複雑な成形が可能になり成形時間の短縮が可能になった。もう一つ竹井研究室のオリジナルな研究に水溶性パターン形成材（レジスト）の開発がある。今迄のレジストは有機溶剤やアルカリ現像液使用していたが、水溶性レジストの開発により、環境調和型の製造に変化させた。この研究は企業に有償譲渡されていて、企業への橋渡しの役を果たしている。これらの研究によって、内外から受賞していて、とやま賞（2017）・コニカミノルタ画像科学進歩賞（2011）を受賞している。

竹井教授の研究は深い専門性と国際的な視野に身につけた研究で注目されている。アメリカやシンガポールやベルギーの研究機関と提携して産学官の連携を深めながら研究を続けている。学生には国際的な経験を積むために、海外での研究発表の場を設けている。また地元富山との結びつきを強化にして研究にとり組んでいて、地元メーカとの共同研究を進め、高付加価値の製品を造る努力をしている。

竹井研究室は研究設備の面でも優れていて、1 時間に 10 回程度の換気が出来る新クリーンルームを

保有管理し、医薬品・化粧品・食品の原料選定から材料化、成形加工、分析・物性評価を通して、新製品開発や知的財産化まで一貫して学べる研究室を持っている。

竹井教授自身が民間企業での開発実績により博士号を取得したので、社会人博士取得のサポートに力を入れている。

<インタビューを終えて>

この研究室から世界の研究機関との協力、また地元企業との協力により付加価値の高い新製品が生まれてくるように思った。

（2021 年 6 月 18 日 池上 勁）



竹井研究室ホームページ

<https://www.pu-toyama.ac.jp/PH/takeislabo/>



竹井研究室のメンバー

総合建設コンサルタント



信頼のおける技術で社会に貢献する

株式会社 建成コンサルタント

代表取締役社長 瀬 川 光太郎

本社 〒933-0014 富山県高岡市野村 284-1
TEL 0766(25)6097 FAX 0766(25)5697

富山県公安委員会指定

**富山県
第一自動車学校**

〒939-0274
射水市小島 715 TEL0766-52-0722
<http://www.3.canet.jp/users/td1>

お客さんと共に歩む店

～カントリーレストラン田円～



技6 草農 1970 年卒

藤木 一博 さん

滑川でレストランを経営する藤木一博さん。富山県立大谷技術短大の草農科を1970年（昭和45年）に卒業している。学生時代は軽音楽部に属してハワイアンバンドで活躍し、その頃はやっていたダンスパーティで演奏し、富山県民会館の地下展示場をよく利用した。同じクラスの梅原明さんは幼なじみで幼稚園から同じ地元学校の同窓生で同じ草農科にはいり学生生活を送れたのは楽しい思い出と話す。

卒業後は大阪や宇奈月グランドホテルで修行をつみ、富山市の桜木町でお店を持ちバーテンダーとして、腕を磨き特にウイスキーやカクテルに興味があり全国のバーテンダーの大会で全国4位に輝いたこともある。

転機は42歳の時、夜の生活から昼の生活に変えたくて、滑川にレストランを建てた。これが大変ユニーク、田んぼの中の一軒家で、形がドーム型。藤木さんは、子供さんといっしょにキャンピングカーで旅するのが好きで、日本各地を旅した。その時に見たドーム型の建物が心に残り、ドーム型のレストランに決定する。だが始めから問題山積みで、北陸では初めてのことで建築許可がなかなか下りなかった。またドーム型の建物はほとんどが屋根で雨漏りの心配があり雨漏り対策をした。問題を一つ一つ解決して開店にこぎつけた。

珍しい外観と美味しい料理が話題を呼び、県外からも客が訪れ繁盛店になった。

メニューは、バーテンダーの時に独自に考えてお客さんに出して好評だったビーフシチュウからスタートする。勿論スープもお店の特製、ハンバーグ、ハッシュライスと続き、お客様の要望に応じてメニューを増やしていった。家が農家なのでお米は自分が作ったコシヒカリ、野菜も自宅栽培の物を使った。

学生時代から音楽に興味がありハワイアンスタイルギターを扱っていた、最近はオカリナの演奏も楽しんでいる、奥さんも「二胡」の演奏を趣味にして

いる。アマチュア音楽家が練習する場や発表の場がなく困っていることを聞き、ピアノや音響設備が整っているお店を、発表や稽古場として開放することに決めた。ドーム型の店は音の反響が良い。婦中や、大沢野、黒部から多くのアマチュア音楽家が集まって交流の場にもなっている。ここで知り合いバンドを組んだグループもある。

店の名前『田円』は、最近まで『田園』だった。リニューアルを契機に店名を改名した、2020年9月28日付けの改名挨拶文を紹介します「おかげさまで28年目の実りの秋を迎えました。店舗前の拡張工事に伴い数カ所の修復をして、すこしばかりにリニューアルとなりました。42歳の大匠で開店してから、早いもので70歳の古希へと…。古くなったけど、希望を持ち続けたいと思います。（笑）

皆様の楽園であることを願い、始動した『カントリーレストラン田園』・・・この先は、円熟味のあたる人生を目指し、『カントリーレストラン田円』と改名します」。

順調にお店は動いていたが、やはりコロナの影響を受けて去年の4月は売り上げが半分に落ち込んで苦しかったが、お客さんの協力で最近回復している。

最近、お客さんの要望を取り入れてトイレの改修を伴うリニューアル、また改名して新たな気持ちでスタートする、新しい「カントリーレストラン田円」はお客さんと共に歩む店。

（2021年6月5日 池上 勁）



私の好きなもの

酒井 秀仁 (さかい ひでひと)

工学部 機械システム工学科 1996 年卒

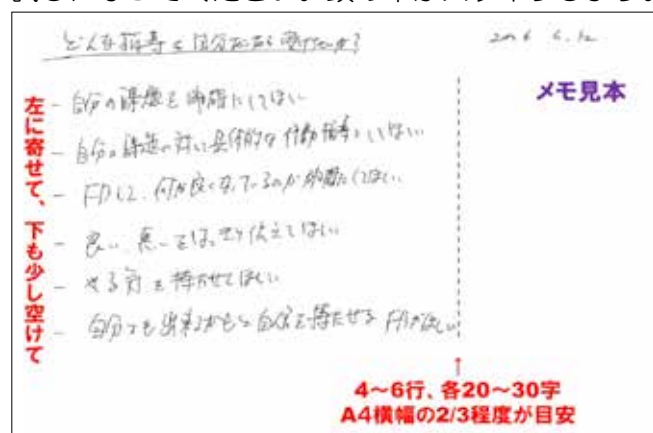
「もやもやをなくし、頭の中を整理する」
すきなこと3点セット ①やること ②本 ③ワー
クショップ

① A4 メモ書き

もやもやして頭を整理したい時に「A4 メモ書き」
をします。一人で、職場の同僚と、労働組合の仲間
と、最近は ZOOM やクラブハウスで。メモ書きっ
て何？どうやるの？→②をご覧ください。

②『ゼロ秒思考』 著者 赤羽雄二

本書にメモ書きのやり方や効果について詳しく書
かれています。A4 用紙を横置き、左上にタイトル、
右上に日付、本文は 4～6 行で各 20～30 字。こ
れを起きてから寝るまでの間、極力 1 ページ 1 分で、
これを毎日 10～20 ページ書くだけです。特にも
やもやした瞬間、思いつくままの言葉を「そのまま
書き出す」ことが効果的。もやもやする方はぜひお
試しになってください。頭の中がスッキリします。



続かないよ！という方は③へ

③赤羽雄二さんの『ゼロ秒思考』ワークショップ

興味があっても一人ではなかなか続けることはで
きません。このような時はワークショップがおすすめ
です。初めて参加した時は衝撃でした。1～2 時
間のワークショップで講演時間は 15～20 分程度
であとは「質問」「メモ書き」「シェア」です。多くの
「質問」に即答される赤羽さんがあまりに凄すぎ
てただただ感動したのを覚えています。参加者全員
での「メモ書き」は一人メモ書きよりも文字数が増
え、頭の中がいつもより整理されスッキリ感が増し
ました。書いたメモを参加者同士で「シェア」する
と別視点が加わり、自分の考えを客観的に捉えるこ
とができ心の余裕が生まれました。こんな私でもメ
モ書きで変化しました。もやもやして、頭の中の整
理が苦手な方はぜひ！人生が変わります。



《近況》

卒業後、自動車部品メーカーに勤務。自分自身の
生き残りに不安でいっぱいの時、『ゼロ秒思考』に
出会いました。こんな私でも「救われた」「成長した」
と思えたので、自分だけではもったいない、私のよ
うに「もやもや」している人に一人でも多くお伝え
したい、との思いからメモ書きを紹介しています。



大居 亮 (おおい あきら)

短期大学部 農業土木専攻 1995 年卒

①ゴルフ

30 代前半まではゴルフに限らず、子供の少年野
球の指導者をしたり、その他にもいろんなスポーツ
をしていましたが、40 代になると若い者と対等に
勝負できるスポーツはゴルフしか無くなりました。
こんな事を言うと調子にのっていると思われるかも



しれませんが、めちゃくちゃ上手くなったと思います。スコアは言えませんが、10年前に比べると雲泥の差です。最近の仕事が忙しく、なかなか行けないのですが、チャンスがあればゴルフ場に行きたいです。

誰かまた誘ってください。

②飲み会

酒は強くないのですが、飲み会が大好きです。今はコロナのせいで全く飲み会がないのですが、コロナが終息した時にはみんなで一緒に呑みたいものです。呑んだ後に1990年代の歌を歌うのが一番の幸せです。早く前のような生活が送れることを祈ります。その他にも好きなものはいっぱいあるのですが、書けないものばかりなので以上の二つで終わります。



金崎 拓馬 (かなさき たくま)

工学部 電子情報工学科 1997 年卒

①車

『好きなことを仕事にするものではない』と言われることはありますが、生きていくうえで大半の時間を仕事に費やすことになる、やはり好きなことをしていきたい。そう思うと『仕事』になっていましたね。

車に対する『好き』の種類が変わった気がします。好きでい続けられているし、そのお陰で自分の今の成長があります。車を好きになって良かった！

②本

以前(大人になるまで)は好きな方ではなかったと思います。しかし、小さいながらも会社を経営させていただいており、それがきっかけになったと思います。

昔は、推理小説ばかりでしたが、今は経営のための勉強本を読んだりしているうちに、本屋に並ぶ本の帯にまんまと釣られて、様々なジャンルの本を手取るようになりました。本を読むと、いろんな人の人生を自分が生きたような感覚になれる瞬間があり、自分自身の人生だけを歩むよりも深みが増した気がします。

そこが一番の好きな理由かもしれません。

③電気屋さん

大好きですね(笑)。これは小さい頃からだと思います。だから工学部に入ったのかもしれないですね。理由・・・とりあえずワクワクします。

最先端をいち早く、最も手軽に、目の前で見られるワクワクでしょうか？

女性にはあまり理解いただけないのが難点でしょうかね。

《近況》

近況は子供たちも大学と就職とで生活が変わり、自分の仕事が無い時の週末は暇が出来て来ました。今までは息子の野球観戦等が当たり前だったのが、何をすればいいかわからない状態です。そこでゴルフをちょっと練習しようと思った今日この頃です。



この頃はくっついてても嫌がらなかった娘、

《近況》

早いもので、アラフォーからアラフィフへと転職(笑)し、日々老いに負けるものと抗う今日この頃です。3人の子供たちは凄まじい勢いで成長していくので、負けず嫌いな私は、彼らでは勝負できない分野で成長してやろうと、面白楽しく戦っています。いつまでもアクティブに、健康にも気を配りながら、人生楽しんでやろう！と思っております。まだまだ、やりたいことを見つけることも止めませんよ。

未来の自然を考える
株式会社 国土開発センター
測量・調査・設計・総合コンサルタント

取締役富山支店長 御器谷 正人
射水営業所長 野開 勝政

富山支店 : 〒939-8213 富山市黒瀬 13 番地 3
TEL(076)420-9800・FAX(076)420-9808

射水営業所 : 〒939-0313 射水市塚越 1816 番地
TEL(0766)56-8558・FAX(0766)56-8559

http://www.kokudonet.co.jp



3冊の本

中国の笑い話

川上 陽介 教授（かわかみ ようすけ）

教養教育センター 2021年4月着任



私が本学に着任してから10年の歳月が経過している。私の授業を受けたことのある卒業生が、そろそろ社会で活躍し始めている頃ではないかと思う。とはいえ、私のような教員のことを、たとえ僅かでも記憶しているという奇特な卒業生は、それほど多くはないかもしれない。また、そのような奇特な卒業生がいたとしても、おそらくそれは、不本意ながら履修せざるを得なかった、工学部全学科・1年次必修科目「日本語表現法」の担当教員として、おぼろげな印象を留めているにすぎないであろう。

実は、私の専門は、「近世における日中比較文学研究」である。そのため、工学部の学生諸君には少々気の毒だと思いながらも、例年「教養ゼミ」という少人数クラスにおいて、中国笑話集『訳解笑林広記』（1829年、和刻）をテキストとして取り上げ、ゼミ生たちと一緒に、二百年前の中国人が感じていた「笑いのツボ」は何なのかを、納得のいくまで深く鋭く、そして楽しく考えさせる授業を行っている。

そこで今回は、私が授業で扱っている中国笑話集のうち、代表的な作品を3種、紹介してみたい。いずれも17世紀から19世紀までの間に、中国で編纂された笑話集である。

1 絶纓三笑（1616年序、全757話＋類話）

2 笑府（1620年成か、全600話＋類話）

3 笑林広記（1761年刊、全827話）

「教養ゼミ」の教材として使用しているのは、江戸時代の中国語学者・遠山荷塘が、3『笑林広記』（全827話）の中から三分の一ほどの話を抜粋し、中国語（文言と白話の混交文体）の原文に訓点を施して上梓した、和刻本『訳解笑林広記』（1829年刊、全305話）である。

上記三種のうち、1『絶纓三笑』は、極めて鋭いコメントが多数挿入された笑話集だが、まだ本土中国においてもごく一部の専門家しか知らない稀覯書。2『笑府』は、早くから松枝茂夫氏の日本語訳が『歴代笑話選』（平凡社「中国古典文学大系59」）、『中国笑話集 江戸小咄との交わり』（平凡社「東洋文庫24」）及び『全訳笑府（上下）』（岩波文庫）に収録されており、日本国内での知名度は比較的高い。3『笑林広記』は、中国での知名度は極めて高い。

日本でも、前出『歴代笑話選』に部分的に収録されており、似たような話が『笑府』にも多数収録されているが、一般的には、『笑府』よりも格段に品格が落ちると言われている（授業で扱えないような下ネタも多い）。

残念ながら、ここに中国笑話の具体的な内容を紹介することはできないが、毎年、工学部1年の学生諸君と共に「教養ゼミ」の授業用に作成した注釈は、拙稿『『訳解笑林広記』全注釈（一）～（七）』として、県大紀要（第26巻～第31巻）に掲載されている（Web閲覧可）。

また、全話の注釈が完成した暁には、全ての注釈を単行本として刊行する予定である。数年後に刊行されるであろう拙著は、日中比較文学の専門書に分類されてしまうだろうが、そもそも本注釈は、富山県立大学工学部1年のゼミ生たちに、納得のいくまで深く鋭く、そして楽しく「笑いのツボ」を理解してもらうために作成したものである。私としては、本書は、私の「教養ゼミ」を受講してくれた、かつての教え子たちにこそ、深く楽しく懐かしく、心ゆくまで読み味わってもらいたいと、心の底から願っている。

元「川上ゼミ」受講生の諸君は、数年後、ぜひとも本書を手にとってもらいたい。



《3冊の本》というページのハズ

川尻 香代子（かわじり かよこ）

技23 農業機械科 1986年卒業

“サンパチ豪雪”は生まれる少し前。

“ゴウロク豪雪”は高校生。

“ゴウキュウ豪雪”は県立短大生。

今年の大雪は“レイサン豪雪”とも“ニイゼロニイチ豪雪”とも言わないよう…それにしてもよく降った2021年の幕開けだったこと。

新型コロナウイルスに背中を押され、人生の最後の仕事にしようと開業した居酒屋を4年満たずに閉じたのは2020年の7月。4月から営業を自粛していたので、少しばかりプラプラした時間は、何もしないわけにもいられまい、と日がな一日畑に出ては、できることをできる範囲で取り組んだ。たくさんの野菜と戯れた。でもこればかりでは生きづらいぞ、と4ヶ月の営農生活中に考えてはいた。

そんな時、ふとしたご縁で今の仕事に巡り合い、8月から週4日の勤務が始まった。今、少し話題の“週休3日制”で通勤時間は、田園地帯ほとんど信号なしで10分というちょっと嬉しい短距離。だが久々のこの大雪を前に、もしや除雪が追いつかないのではないかと、という危機管理能力が働きすぎ、想定内の事態がどんどん膨らむ。何があっても対応でき、

かつ遅刻のないように、と熟考した結果、いつもより2時間以上前に家を出るべき、との結論に達した。

案の定、いきなりのドカ雪に1台分しか車道はなく、すれ違うことはできない。早朝の暗闇の中、スタックした車に行く手を阻まれ、迂回を何度もしてみたり、スコップを手に救援にも出たり。

十分すぎる危機管理が功を奏して、到着して一息ついた頃ようやく、カーラジオから聞き慣れたラジオ体操の音楽が流れてきた。8時少し前に到着すればよいのにいくら何でも早すぎだろう。我ながら可笑しい。こんな早出が何度か続き、車内での時間つぶしはもっぱら読書になっていった。そんな時に『3冊の本』を書いてみないか？の声。なんとというタイミング。でも3冊は無理なの、編集長。なぜなら、これまでほとんど読書時間を持たなかったのに、この冬は乱読しすぎて3冊を選べないから。家に息子が放置していった村上春樹著『1Q84』全6巻に挑戦し、読書習慣に火がついてからというもの、あとは近所の某下村図書館で借りた本は、1～3月の間に25冊を数えた。

富山県立大学同窓会機関誌『千瓢』の中では、比較的新しいこの『3冊の本』のコーナーだが、早速変則的に『3人の著者』にしてしまった。採用されないかも知れないがそれを承知の上で、編集長ごめんなさい。

本当ならば、いの一番に恩師、足立原貫先生を挙げたいところだけれど、今回それはやめにしておく。

1) 万城目学

2006年のデビュー作『鴨川ホルモー』と2014年に出会い、以来、こよなく万城目ワールドを愛することになった。この冬も複数冊向き合い、おなか一杯になった。彼の作品に感じられる“風”が私は好きだ。

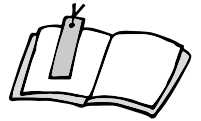
2) 宮部みゆき

時代小説も現代小説もミステリー小説も、彼女の作品には必ずやさしい“色”を私は感じる。直近では『初ものがたり』を読んで稲荷寿司を食べたくなった。

3) 藤沢周平

むかしむかし、自身が竹刀を握っていたことがあることと関係するのか、“秘剣”とか“隠し剣”などという文字を見るとぞわぞわし、彼の世界にのめりこんだのかも知れない。原風景をもとに描写された景色からは“匂い”や“水の冷たさ”までもが感じられ、とても入り込みやすい時代小説の数々。年明けから3ヶ月間の“乱読冬の陣”の最後に読了したのは『竹光始末』。

山本周五郎、池波正太郎、神坂次郎、滝口康彦、山田風太郎の短編集にも初挑戦してみたけれど、私が手に取りたくなるのはやはり、藤沢周平さんだなあと改めて思っ見上げた枝には、桜のつぼみが少うしだけ膨らんでいた。



同窓会日誌

P13のつづきです。

2021年1月14日

7日(木)の夜から降り続いた雪。災害級の豪雪により身動きがとれず、外に出ても食糧が売っていないというので4日間家にこもっていました。そして本日やっと事務局へ出勤してきたわけですが、まずは雪かきから。冬支度として事務局用にアルミスコップを用意しておいたんですが、入口が雪で塞がっているので取りにも行けず、車に積んできたプラスチックスコップでとりあえず通路を確保。

まだまだ、道路脇に積った雪や、取り残された事故車両で道路幅が狭かったり、圧雪の影響で渋滞している箇所が多いので、油断大敵です。日曜日にもまた雪の予報ですが、これほど降ることはもうないでしょうか…

2021年2月18日

また雪が降り積もりました。今回はどの道路も除雪車が入っており、それほど渋滞はありませんでした。大学の駐車場もしっかりと除雪されており安心しました。しかし、事務所に入る道はありません。まずは通路確保からです。

今日いっぱい降り続きそうなので、みなさま移動

の際にはお気をつけください。



1月14日

2月18日

2月18日

同窓会事務局玄関前と駐車場

2021年3月20日

学位記授与式が行われました。

卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。新しい門出を心よりお祝い申し上げます。

2021年4月6日

富山県立大学入学式が、ラポールにて行われました。保護者の入場はできず、学生のための式典でしたが、式典の様子はYouTubeで同時中継されていました。まだまだ収束しないコロナ禍で送ることになる大学生活は、我慢の連続だと思いますが、4年間頑張ってください。

令和3年度の授業は、感染防止対策を実施した上で、対面で実施する予定となっているようです。

Facebook もご覧ください。



プレゼント 10名様



あんぽ柿のジャム

富山特産三社干柿の風味を生かしたジャム。富山県特産品『三社柿種』の干柿はとて大きく、すごく手間がかかる干柿です。昔はそれが良かったのですが、近年は『大きすぎる』『高すぎる』『甘過ぎる』と干柿ばなれが進む中、オーベルジュ『薪の音 金澤』のシェフ鵜野宏嘉さんが、昔ながらの良さを伝えていきたいと、プレミアムなジャムを作りました。

あんぽ柿そのままの風味と甘みを引き出したジャムは、パンに付けてお召し上がり下さい。バターやマーガリンとの相性も楽しめます。

シェフのオススメの召し上がり方は、カキ・ラテ。ホットミルクとご一緒によくかき混ぜてお召し上がりいただきますと、ミルクにほっこりとするコクと甘みが加わってとっても癒されます。少し変わった召し上がり方で、あんぽ柿のジャム、ホットミルク、ゴマペーストをハンドブレンダーで攪拌すると、カフェラテのようにキメの細かい泡の立つホットドリンクになります。寒い冬は体の中から温まります。

● 140ml 650 円

【お問い合わせ】

東太美干柿委員会

Tel : 080-8997-9332

◆三社干柿とは

富山県南砺市と石川県金沢市にまたがる標高939 mの山「医王山（いおうぜん）」。

この山のふもとに広がる南砺市福光地区では、古くから農家の冬仕事として干柿づくりが行われてきました。富山干柿に使われるのは、福光地域原産の三社柿（さんじゃがき）と呼ばれる渋柿です。大きなもので直径10cm、重さ350gにもなり、果肉が絞まっているのが特長です。三社柿種を丁寧に干し、「手揉み」といわれる伝統技法を加えることで肉厚でしっとりした味わいの干し柿になります。

～抽選で10名にプレゼント～

「ジャム」希望と書いて、はがきかメールでご応募ください。ホームページからでもご応募できます。締切 9 月末（当日消印有効）

応募先

〒939-0398 富山県射水市黒河 5180

富山県立大学同窓会 「千瓢」編集部

Email:

senpyokai@pu-toyama.ac.jp

ホームページ:

<https://tpu-dosokai.jp/>



— 前号プレゼント当選者発表 —

『ゆず蜜』

安村 恵美さん	宮本 佳奈さん
永瀬 孝博さん	椋本 雄樹さん
金岡 京子さん	得永 栄治さん
早川 俊一さん	今井 準子さん
原田 英幸さん	上田 文憲さん

当選おめでとうございます。

同窓会正会員数

11,812 名

お願い：住所不明会員が年々増えております。該当者をご存知の方は、事務局まで連絡いただけるようお伝えください。



松原建設

MATSUBARA CONSTRUCTION CO., LTD.

<http://matsubara-kensetsu.com/>

懐かしい短大時代を振り返って

富山県立大学同窓会会長 野開 勝政



短期大学から四年制の工学系大学に昇格し節目の30年が過ぎ去りました。この間、産学官連携を積極的に推し進められ、「知の拠点」として着実に進展してきたと思います。

私自身は40年以上も前の短大卒であり、この投稿依頼を機に当時を振り返ってみました。

私が県立技術短期大学農林土木科に入学したのは、昭和50（1975）年4月で当時は高度成長期の真っ只中でした。富山新港工業地帯や、そのベッドタウンとしての太閤山住宅団地の造成や太閤山ランドの整備、そして圃場整備事業などが全盛期の頃だったと思います。

同期の入学生は、県内はもとより北海道出身者なども含め35名でした。女性2人が始めて同科に入学したのもこの年だったと思います。

自宅が学校に近いにもかかわらず、当時では珍しいマイカー（ホンダN360）通学していました。学生の多くは小杉駅から今は無き太閤山温泉（現太閤の湯）前を通り徒歩で通学していました。その頃は小杉駅の南口はありませんでした。

学生時代といっても、在籍していた2年間は本当に短く自分は授業についていくのが精一杯だったと記憶しています。でも夏休みには、なかなか経験できないようなアルバイトをしていました。1年時には北海道のオホーツク海沿いの雄武町（おうむちょう）の牧場で、乳牛の世話と過酷な草刈り作業でした。海沿いの牧場だったので毛ガニや潮干狩りで取ったウニが美味しかった。バイト終了の帰路は観光を兼ね幸福駅前や登別温泉でテント野宿。その後、襟裳岬をバスで周遊している頃、台風直撃に合い当時の国鉄が崖崩れで不通となり、室蘭から函館まで人生初めてヒッチハイクで向かいました。大型トラックの運転手さんはヒッチハイク者には乗せないが旅慣れていないような二人連れだったから載せたと言っていました。函館から青森までは「青函連

絡船」、青森からは寝台列車「白鳥」で帰ったと思います。

2年時の夏休みは有峰青少年キャンプ場で来客者に規則正しい生活指導を行っていました。当時、高校生が多く女子高生やガールスカウトの指導者との楽しい懇親。夜のフリー時間では澄み切った夜空の流れ星を眺めながら恋の話や将来のことを語り楽しいキャンプ場生活を送りました。最後の夜には何か記憶に残る思い出をつくろうと、気の合った友と二人で有峰湖の周り約30キロを夜通し歩いたことなどが、なつかしく思い出されます。

肝心の授業では1年生時の物理の先生の個性がかなり強かったという印象と宿泊実習では学校の食堂2階に1週間泊り込んで、日中は林道の現況測量、夜は製図と設計をしていました。この実習では一連の測量設計の実作業を学べたことから、自分にとっては後の職場でも大変役にたった貴重な経験だったと思います。

また、課外授業として砺波地方で行なわれていた流水客土事業を視察したおり、当時の卒業生が説明され、スケールの大きな仕事を任されていると感銘しました。

卒業後も諸先生方の研究室を訪ねご教示頂きました。自分のこれまでの人生の中では、たった2年間で短い学生生活でしたが、先生方や同期の仲間たちとの出会いは、かけがえのない大切な財産をもたらしてくれたと感謝しています。（2021年3月7日）

【近況】

昨年の暮れに父が94歳で他界しました。一家の主になったことで責任の重さを痛感するとともに、加齢に加え気力体力も衰えてきました。唯一の癒しは温泉めぐりと内孫と一緒に遊ぶことです。今年も何回ファミリーパークにお邪魔することやら。

未だ新型コロナウイルス感染が終息する気配がありません。8月の総会までに予防接種も受けられるか分からない状況ですが、一日も早く平穏な暮らしに戻り、好きな旅行が楽しめることを願うばかりです。

終わりに富山県立大学の限りない発展と同窓生の益々のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。

マルタカハウス 家
丸高木材株式会社の家
専務取締役 一級建築士
片境 清久 (S61.衛生工事)
(一社)富山県建築士事務所協会 理事



〈本 社〉〒934-0058 耐水市川口997
☎(0766)82-5101 FAX 84-3637

KIKURA
DTP DESIGN & PRINTING



わたしたちは、
優しさを印刷しています。



エコアクション21
認証番号 0001870



24000379(02)

企画・デザイン・印刷・製本・ソフト開発

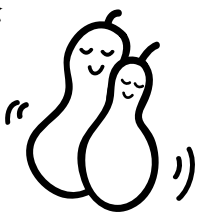
キクラ印刷株式会社

〒933-0322 高岡市樋詰48-2

[TEL]0766-31-2794 [FAX]0766-31-3526

富山県立大学の歴史を読む

富山県立大学の開学30年を記念して『富山県立大学三十年史』が発刊された。この機会に今迄発行された大学の機関誌（歴史）をも一度読み直してみました。



『富山県立大谷技術短期大学
十年史』1971年(昭和46年)
11月・A5判295p

まず始めに『富山県立大谷技術短期大学十年史』を読む。富山県立大学の前身である大谷技術短大の創立から10年間の記録、創立する大学であり話題に事欠がなく面白い話がてんこ盛りである。

大学誕生の中心人物、吉田実富山県知事の「創るまでの裏ばなし」は特に面白い。大谷米太郎氏のところを尋ね、知事が技術短大の構想を話したとき、大谷氏が「自分は家が貧乏で、勉強できなかった。吉田君、その大学は一体いくらかかるかね」と問われ、事務当局の概算で4億円と聞いていたので「約4億ぐらいです」と応えると、大谷氏はしばらく考えて「県と自分とで、半分ずつ出しあってつくろうじゃないか。いま自分の手許に2億円はないが、弟竹次郎とも相談して出しましょう。」と言うことで決まった。いよいよ建設に掛かると経常費を除いて建設費だけで8億円あまり掛かったと思う。あるいは、あの時「8億円かかるでしょう」と申し上げたら、「半分の4億円を出そう」とおっしゃったかもしれない。なお大谷氏の後押しで出来た大学なので「富山県立大谷技術短期大学」の名称で大学がスタートする。

吉田知事は応用数学科（女性のみ）の設置について「コンピュータはやがて全国に普及するであろう。そして女子に最適な技能である。」と述べている。草農業科の設置は文部省に申請したが断られたが、必要性を強調して文部省を説得して創られた科で知事にとっては一番思い入れのある科で、文章の中で「私の希望を述べさせて戴くならくもっと草農業科を重視して欲しい」ということである。」と強調している。

谷安正初代学長の「開学10年間の憶出」に出てくる「千瓢亭」由来記は興味深い。学長が当時の事務局長の小沢敏一氏と二人で佐藤助九郎氏を総曲輪の御宅を訪れて短大に茶室を寄付して頂くために訪れた時の話。女子だけのクラスであった応用数学科の女子学生を主とした学生諸君に対して潤いを与えるためと説明すると快諾され、総曲輪にある茶室を寄付しようとして申し出られた。その茶室は富山藩主がもっておられた由緒のある建物であったが、それでは初心者のためのものとしては勿体なさ過ぎるので辞退した。だが今から考え

ると惜しいことを、貰っておけば良かったという気がする。

それで新しく茶室を造ることになり、佐藤助九郎さんをお願いした、佐藤さんは助庵と号される茶道の達人で、来学されて現在の位置に茶室を選定されて建築に取りかかれた。何度も来学され一木一草と言えども自ら選ばれ、また飛石一個に至るまでその位置を決めて頂いた。建築に関しても勿論やかましく、一枚の板、一本の柱にも厳重に吟味されていた。

この茶室には小さな教室を兼ねた華道の「けいこ」場が付属している。この小教室を含む茶室全体の名を千瓢亭と云い、これは小杉町の名筆家片口江東（安太郎）の命名にかり、大学の所在地太閤山に因んだものである。同氏の筆になる扁額が亭に掲げられている。茶室そのものは洗心庵と呼ばれ、寄付者佐藤助庵さんの命名になり同庵の軒の額も同氏のものである。この千瓢亭由来記は、この同窓会機関誌『千瓢』の由来と重なる。

谷学長の「バラ園由来」も面白い。短大のキャンパスが殺風景なので学長自らが100本のバラを寄付して、バラ園をつくり、それに後から30本追加寄付して、学生や教員の協力で管理してバラ園を充実させた話。早々期の学園の様子が浮かびほのぼのとする。編集委員長は機械科の大岩藤造教授で巻末に同窓会名簿が載っているのは便利だ。



『富山県立技術短期大学史』
1991年(平成3年)3月・
B5判399p

次に『富山県立技術短期大学史』を読む。1962年（昭和37年）4月開学の直前から、短期大学として最後の学科卒業生を送り出した1991年（平成3年）3月までの歴史。最後の卒業式の様子を記した文章が心に残る、少し長くなるがあらましを紹介する。

終章 開学29年——最後の卒業式

本学最後の卒業式が1991年（平成3年）3月22日、大谷講堂において挙行された。当日は折あしく、今にも降り出しそうな、肌寒い日であった。

藤井学長は190名の卒業生と7名の専攻科修了生に向けて、次のように説いて、餞の言葉とした。

「私が大学生だった昭和15年から17年の間、機械工学を学んだが、機械振動学や制御工学はまだ独立した学問とはなっていなかったし、コンピュータが出現したのもかなり後のことであった。ところが大学に勤めるようになると、機械振動学、制御工学がともに主要な学問分野として、その講義と研究が私の仕事となり、40才を過ぎてからコンピュータを利用してロボット制御にとり組むことになった。科学技術を吸収しながら新しい問題にとり組むことが必要であったが、大学で学んだことが無駄になったということではない。それらの基礎が有り『学ぶことを学んだ』からこそ、新しい分野を切り拓いて

いくことが可能になったのである。本学で基礎的知識や技術と共に『学ぶこと』を身につけたと思うが、どうか『日に新た』の精神で常に『自分で自分を教育』していく積極的姿勢をもって行って欲しい。

さらにいま一つ重要なのは、豊かな人間性です。技術者は技術力に加えて豊かな人間性が必要です。常に他への思いやりを忘れず一生かけて人間性を高めていただきたい。」

学長式辞に続いて中沖富山県知事は県立技術短期大学の創立以来今日に至るまでの学術、文化の振興と産業の発展に大きな役割を評価して、県立技術短大の伝統が新しい県立大学に引き継がれ、更に輝きを増すことを確信していると述べた。そして終わりに「本学で学ばれた知識や技術を大切にされ『学を以って已むべからず』の気概を胸に刻み、生涯にわたって学ぶ心を忘れず、理想を高く掲げ、広い視野と豊かな人間性を育てていただきたい」と告辞を結んだ。

卒業生、修了生を代表して石井勇司（機械科）が「一步一步の歩みを大切にしながら、技術短大で培った技術をもって、大空にはばたく熱意に、人生を後悔のないよう精一杯生きていく覚悟であります」と決意の言葉を述べて式典は終わった。

その後、大谷講堂の前に作られた「見上げる」と題されたモニュメントの除幕式が行われた。藤井学長、高倉衛生工学科主任教授、山本後援会長、日展会友である製作者藤井治紀氏、学生を代表して学生自治時会長名古屋明（機械科）、稲垣由美（応用数学科）の6名によって除幕された。

このモニュメントは、開学以来29年、最後の卒業生を世に送り出した富山県立技術短期大学（富山県立大谷技術短期大学）の思い出として、本学後援会が寄贈されたものである。この像は高さ約1メートル80センチ、両手を前に交差し、空を見上げ、理想追求に燃える青年の力強い姿を示している。そしてまた、玉木教授の筆になる「富山県立技術短期大学記念之碑」の名板と後援会の名が台座正面にはめこまれ、裏面には、本学に職を奉じた学長、教職員、事務局長152名、学科卒業生4680名の名が刻されている。式典、記念パーティ、モニュメントの除幕と、本学のラスト・ステージに相応しく華やぎと一抹の淋しさの交錯した雰囲気の日であった。以上があらましです、編集委員長吉崎文夫教授で、第1編「準備期と草創期」は脚注が多く充実している。

『富山県立大学十年史』

1990.4—2000.3』は、編集委員長の宮代裕氏が編集後記で編集にあたっての留意点を3つ述べている。①現時点に近いほど記述が詳しくなり過ぎないように配慮する。②文章は出来る限り少なくし、付表を

増やす。③新たに原稿を依頼すると、懐かしい思い出や将来の抱負のみになりがちなので、これを避ける。随想・論説欄は「県立大学ニュース」から、各委員10編を推薦して、その中から選んだ18編は面白く読むことが出来た。その中で寛田知義教授の「編集後記（富山県立大学ニュース第31号）」が味わい深い。「後援会だより」から採った「授業訪問」は父母が授業を参観するユニーク記事で楽しませる。同窓会として筆者が編集委員として参加している。

『富山県立大学二十年史』



『富山県立大学二十年史
(2000.4から2010.3を中心)
2010年(平成22年)
7月・A4判213p

中心に』は中哲裕編集長と共に筆者が編集委員幹事として編集に関与したので思い出がある。写真の選抜や、随想・論説の選択をお手伝いした。版型がB5からA4の大きくして写真を多く入れ、読みやすく楽しい物にした。浅野泰久教授の「生物工学科の誕生」は生物工学研究センターの「キラリ」と輝く組織誕生の話が綴られている。安田郁子教授の「退職にあたり、感謝を込めて」は富山県立大谷技術

短期大学（途中で名称が富山県立技術短期大学に変更）の衛生工学科、次は県立大学短期大学部環境工学科、それから農業技術学科農業土木専攻と統合された環境システム工学科、さらに工学部の4年制環境工学科と変遷する中での思いが語られ、熱意はもちろんだが、大事なものは「人」をふくめた「タイミング」だと云うことを「身をもって」経験したと述べられている。題字は、富山県立大学の前身、富山県立大谷技術短期大学の一期生の浦野泰子（紅雨）さんをお願いした。

『富山県立大学短期大学部史 50年の歩み』



『富山県立大学短期大学部史
50年の歩み』2012年平成
24年) 8月・A4判196p

立大学短期大学部閉学を記念して企画された。技術短期大学として28年、短期大学部として22年、合計50年の歴史。楠井隆史編集長の編集方針は今迄出ている大学の正史(4冊)があるので史実の詳細は正史に譲り、技術短大・短大部の「熱い思い」を伝えるために特別寄稿に力を入れている。歴代学長、短期大学部長、教員、卒業生、事務局から計30編の特別寄稿が載っている。同窓会としては編集委員会の副委員長として荒木甫同窓会長が参加して、「伴に半世紀」の一文を巻頭に載せている。山口郁子同窓会事務局長は幹事として参加している。

『富山県立大学三十年史』2010.4から2020.3を中心に』はコロナ禍で編集が行われ、編集委員長の福原忠教授は編集後記（令和2年6月29日）で「6



『富山県立大学十年史
(1990.4—2000.3)』
2000年(平成12年)7月・
B5判183p



『富山県立大学三十年史
(2010.4から2020.3を
中心に)』2020年(令和2年)
10月・A4判215p

月の梅雨空の下、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の影響で、ほとんどの講義が遠隔実施となり、学生さんのいない校舎で編集後記を書いています。」という書き出しで「怒濤の4月」の様子をつたえている。20年史の中哲裕編集長が「科学技術が人類の幸福に絶対的に貢献するという夢が揺らいでいる今『三十年史』が書かれる頃、この大学はどのように変わっているであろうか。開学以来の

20年間を振り返り、本学の将来に思いを馳せながら筆を置くことにする」と20年史を結んでいるが、本当に大変な事態が10年後に起こった。

下山勲学長は30年史の巻頭で「富山県立大学は、「富山県立大谷技術短期大学」を起源と、経済界等からの熱い期待を受け平成2年に開学しました。以来30年が経過し、この間、地域の知の拠点として、新しい高度な技術の創造に熱意を持つ、「工学心」

あふれる若いエンジニアやリサーチャーを数多く育成、輩出してきました。一層魅力ある大学にするよう学科拡充に取り組んできました。

具体的には、平成28年4月に、複合材料、ロボット分野を拡充するため、機械システム工学科及び知能デザイン工学科の拡充を行い、平成29年4月には、全国でも初となる、「医薬品工学科」を新設しました。平成30年4月には、「知能デザイン工学科」を「知能ロボット工学科」に名称を変更し、ロボット関連分野を強化しました。そして、平成31年4月には、工学系単科大学から脱皮し、新たに富山キャンパスに看護学科を開設して、医療・看護分野においても有用な人材を育成していきます。そして、令和2年4月からは「電子・情報工学科」を「電気電子工学科」と「情報システム工学科」の2学科に再編拡充するとともに、射水キャンパスには新たな校舎が完成し、大学の施設をより一層充実させました。」と述べている。同窓会から炭谷優子事務局長が編集委員として参加している。

(2021年5月21日 池上勤)

= 年表 =

1962年(昭和37年) 4月 1日	富山県立大谷技術短期大学開学
1971年(昭和46年) 11月	『富山県立大谷技術短期大学十年史』発刊
1972年(昭和47年) 4月 1日	富山県立大谷技術短期大学を富山県立技術短期大学に名称変更
1990年(平成2年) 4月 1日	富山県立大学・同短期大学部開学
1991年(平成3年) 3月 日	『富山県立技術短期大学史』発刊
1992年(平成4年) 3月 31日	富山県立技術短期大学閉学
2000年(平成12年) 7月	『富山県立大学十年史 1990.4—2000.3』発刊
2010年(平成22年) 7月	『富山県立大学二十年史 2000.4 から 2010.3 を中心に』発刊
2012年(平成24年) 3月 31日	短期大学部閉学
2012年(平成24年) 8月 17日	短大部閉学・県立大学起源 50周年記念式典
2012年(平成24年) 8月	『富山県立大学短期大学部史 50年の歩み』発刊
2019年(平成31年) 4月 1日	看護学部(看護学科)開設
2020年(令和2年) 10月	『富山県立大学三十年史 2010.4 から 2020.3 を中心に』発刊

声

◆得永栄治(大谷・衛工・1965卒)

昨年、実行委員会より同窓会の案内を頂き、また友人からのおさそいにより、久しぶりに参加することにしました。特に今回は旧短大学舎の取り壊しが始まるとの事で、昔の旧舎をながめる最後の機会となるとの事で見学することとしました。昔の仲間とも久しぶりに会うことができ、また旧舎を見て廻りながら思い出にふれることができ、良い機会を作って頂きありがたかったです。

もう私達は、後期高齢者となり、先が見えてきましたが、新しい学舎をながめながら、若い人達がこれからここで学び、社会へ巣立ちすると思うと、時代の流れを深く感じました。

これからも「千瓢」の、また大学のご発展を祈念いたしております。

◆早川俊一(大谷・草農・1965卒)

研究室の近況案内はいい、記事内容も先生の文も大変参考になる、イラスト good、写真もユーモアがあり大変良いね。キャンパスの写真も良いです、実物を見に行きたいと思った。新事務局に「千瓢」の額を飾ってはどうか、炭谷事務局長楽しんで「千瓢」を作っておられると感じます、楽しさが伝わってくる。

◆北林恒好(大谷・草農・1968卒)

研究室の近況案内は、わかりやすく説明しており、今後も続けていただきたいと思います。

◆鈴木康裕(技・衛工・1975卒)

母校がハード(建物)もソフト(学生の質)も向上し、非常に喜ばしいことです。富山県という行政の力(資金)の入れようが技術短大時代とは、比べようがありません。今後も母校のご発展お祈りします!現在の学科に3年次編入できませんか?(人生100年時代)(笑)、今も短大コンプレックスが残ります。残念ながら・・・。

◆松本幸信(技・農機・1985年卒)

楽しく読みました!皆さん活躍されていますね。さて、お願いです。応募先のことですが、メールやURLにQRコードをつけては如何でしょうか?老眼が進むと読み取ったり、打つのが大変なので、あると助かります。

◆前野見宏(大・機械システム・2000年卒)

新校舎を遠くから見たことあるが、写真でも校舎を見られて良かった。一度実際に見てみたい。

◆春木雅代(大・電子情報・2004年卒)

4月に完成した新校舎を見学したいと思いました。

退職にあたり



工学部教養教育センター 教授 石森 勇次

平成2年に本学が開学されるのと同時に工学部電子情報工学科講師として着任して以来31年の歳月が流れ、このたび定年退職を迎えることとなりました。開学当初はまだ専門学科の教員室が完成しておらず、しばらく実習棟の広い部屋で他の多くの教員の方々と一緒に仕事をしており、新しい大学を皆でつくっていく活力を感じながらの生活でした。最初の授業で緊張し、また物品の発注の仕方がわからないなど若手の教員として戸惑う中、同室の教員の方々にはいろいろ教えていただきました。その後、平成7年に一般教育の数学担当教員になり、学部学生の教養教育、特に数学教育に今日まで携わってきました。この間、本学が学科の改組や拡充、法人化や看護学部の開設など絶えず発展し続けている中で、どの程度本学に貢献できたのかわかりませんが、何とか定年まで辿り着けたのも、教員や事務の方々のおかげによるものと思います。皆様には心より感謝申し上げますとともに、今後のご活躍とご健勝をお祈り申し上げます。



工学部知能ロボット工学科 教授 平原 達也

2006年に発足した知能デザイン工学科に着任してから15年間、学部生にデジタル信号処理などを講じるとともに、大学院生を鼓舞して音響工学と聴覚科学の研究を行ってきました。そして、学生諸君と一緒に、自作の実験装置を用いて新しい音響・聴覚現象をいくつか見つけるとともに、高感度の体導音センサ、遠隔地の音を立体再生する移動型テレヘッド、頭部伝達関数の高速計測システムなどを創ることができました。学生諸君は、「底力」を出せば世界と互角に闘えるという自信をもったことと思います。これらは、本学の少人数教育体制の賜です。また、小規模校ゆえに風通しがよく、立場を越えて学内外の方々と率直な話しができる場があったことも幸いでした。このような持ち味を活かし、世の中が移ろぎ風は強く波は高くなろうとも、本学は前に進んでいくことでしょう。末筆ながら、お世話になった教職員のみなさまと地元企業のみなさまにお礼を申し上げます。



工学部環境・社会基盤工学科 教授 高橋 剛一郎

1983年4月に県立大学の前身、富山県立技術短期大学農林土木科に着任以来、38年間勤務してきました。この間、同科は同短大の衛生工学科と合流して2009年4月には4年制の工学部環境工学科となり現在に至っています。土木工学と環境工学が融合した、ユニークな学科です。そして、工学部の特色の一つである環境リテラシーを備えた工学技術者教育の中核を担ってきた学科です。このような学科の創設にその前身から関わることができ、たいへん有意義な経験をできたことと感慨深いものがあります。SDGsの達成が重要課題となっている現在、本学の姿勢は重要であり、今後も力強く継承されていくことを望みます。

環境工学棟には37年間、新たな中央棟には1年だけ入っていました。旧棟には簡単にまとめきれない多くの思い出があります。新棟には本学の今後のますますの発展の可能性を感じています。最後に、教職員の皆様方からいただいた長年に渡るご理解とご協力に感謝するとともに、皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。



工学部生物工学科 教授 伊藤 伸哉

本学名誉教授の山田秀明先生のお誘いを受けて1997年に現在の生物・医薬品工学研究センター教授として赴任して24年になります。研究重視のセンターなら遺伝子工学など新しい研究分野を開拓できるのではという思いでした。これまで約40年間、発展著しいバイオテクノロジー分野に身を置けたのは実に幸運であったと思います。本学での思い出は多々ありますが、生物工学科新設のため、中沖元知事が主催する有識者会議に説明に伺ったことなどが昨日のように思い出されます。今年度は、残念ながらパンデミックの年となってしまいました。しかし歴史を振り返ると黒死病の後にヨーロッパで宗教改革やルネッサンスが勃興したように、パンデミック後は常にグローバル化や社会改革が加速します。大学教育もデジタル化を含め大きく変化していくように感じます。退職にあたり、これから教育研究の中心となる若い教職員の皆さんにエールをお送りするとともに、お世話になった多くの方々に感謝申し上げます。



工学部医薬品工学科 教授 榎 利之

2004年4月に生物工学科機能性食品工学講座の教授として着任し、2017年4月に医薬品工学科バイオ医薬品工学講座に異動しました。県立大学在籍期間は17年に及びますが、あっという間という感があります。それまでは企業に16年9か月、他大学に7年3か月在籍しましたが、ずっと関西に居りましたので、着任当時は雪化粧した立山の雄大な姿や春の桜、梨、チューリップに感動し、キトキトの魚の美味しさに感激するという毎日でした。幸い、有能な同僚、スタッフ、数多くの優秀な学生、豊富な研究資金に恵まれ、まずまずの研究成果を挙げる事ができたかなと思います。また、ベンチャー企業の立ち上げや医薬品工学科の開設など、エキサイティングなプロジェクトに携わることができました。現在、そのベンチャー企業は中央棟のオープンラボに間借りしており、2021年4月からはそこで多くの時間を費やすことになると思います。また、私の研究室に配属された4年生3名全員が本学の大学院に進学することになりましたので、彼女たちが就職するまでは、研究のサポートをさせていただきたいと思っています。教職員の方々、事務局の方々には長い間たいへんお世話になり、ありがとうございました。本学のマスマスの発展を祈念し、退職の挨拶とさせていただきます。

2021 年度同窓会総会中止のお知らせ

8 月 14 日に開催を予定していた総会・懇親会・新棟見学会は、いまだ新型コロナウイルス感染収束の見通しが立たない現在の状況に鑑みて、中止といたします。

富山県立大学同窓会へご寄付をいただきありがとうございました

昨年度より新しく設けました同窓会寄付金制度において、たくさんの方から寄付をいただきました。心より御礼申し上げます。ご寄付いただきました方々への感謝を込め、ご芳名を掲載させていただきます。

この芳名録は以下の基準で掲載しております。

■ 2020 年 7 月 1 日から 2021 年 6 月 30 日までに、5 口以上ご寄付いただいた方々を掲載しております。

■ お名前は五十音順とし、肩書を省略して掲載しております。

■ お名前の公表を希望されない方につきましては掲載しておりません。

■ ご寄付いただいた方で、万一お名前がもれている等のお気づきの点がありましたら、誠に恐縮ではございますが、同窓会事務局までご連絡ください。

荒木 實 様	神田 さき子 様	田中 豊 様	水元 陸雄 様
今井 秀昭 様	川原 恵津子 様	中越興業(株) 山下博 様	水木 誠 様
岩脇 喬 様	技短機械科7期生クラス会様	鳥田 修一 様	三井 啓揮 様
岩崎 傑 様	楠井 隆史 様	中澤 博 様	森田 幹郎 様
植松 哲太郎 様	小橋 規實男 様	沼田 淳 様	山口 航平 様
梅本 兵造 様	四宮 裕子 様	畑山 忠雄 様	山本 文雄 様
大倉 透 様	芝田 信栄 様	福川 正俊 様	山村 浩三 様
大澤 義信 様	須賀 由哲 様	藤田 人志 様	米沢 義則 様
織田 伸一 様	鈴木 清美 様	藤本 秀夫 様	北建コンサル(株) 鷺北慎一 様
(株) 中部設計 様	高橋 多美枝 様	前島 基樹 様	澤 嘉昭 様
(株) 婦中興業 竹内茂 様	田中 正人 様	松井 清司 様	ほか匿名 20 名様

寄付金総額 **1,034,398 円** (総件数 249 件)

(2020 年 7 月 1 日～2021 年 6 月 30 日受入分)

寄付金は1口 2,000 円です。(何口でも可) 5 口以上寄付をしていただいた方にはプレゼントをお送りします。お振込方法等の詳細については、別紙をご覧ください。

ご意見、ご要望をお待ちしております。

富山県立大学同窓会公式
WEB サイト

<https://tpu-dosokai.jp/>



こちらから住所変更手続き
や各種お問い合わせができ
ます。



Facebook 公式ページ
fb.me/tpu.dosokai で検索！

編集後記

▼特集「コロナ過の生活」はどうでしたか。生活のスタイルが一変する経験は初めてです。答えのない道を手探りで歩いて行く気持ちです。

▼大学が発行する記念誌を読みました。『富山県立大谷技術短期大学十年史』1971 年(昭和 46 年)11 月・『富山県立技術短期大学史』1991 年(平成 3 年)3 月・『富山県立大学十年史(1990.4 - 2000.3)』2000 年(平成 12 年)7 月・『富山県立大学二十年史(2000.4 から 2010.3 を中心に)』2010 年(平成 22 年)7 月・『富山県立大学短期大学部史 50 年の歩み』2012 年(平成 24 年)8 月・『富山県立大学

三十年史(2010.4 から 2020.3 を中心に)』2020 年(令和 2 年)10 月の 6 冊を読んで、何もないところからスタートし新しい大学を造り出すエネルギーを感じた。今、現在の大学は、新しい校舎が出来、看護学部ができ、工学部との 2 学部体制が整い新しい大学を造り出すエネルギーにあふれているように見えます。大学がこれからどう進んで行くか楽しみです。

▼年会費制を廃止して、新しい同窓会寄付金制度を設けました。多くの方々からのご協力ありがとうございます。

▼今回もアンケートはがきを同封しました。皆様のご意見をお待ちしています。

(2021 年 6 月 10 日 池上 勁)